

星組 懇談会だより (0歳児)

【年間目標】

- 1, 特定の保育士との信頼関係のもとに、人との関わりを喜び、自発的に遊んだり自己主張を活発にしたりする。
- 2, 安心できる環境の中で、聞く、見る、触れる等の体験を通して身のまわりに対する興味や好奇心が芽生える。

<1 についての取り組み>

・担当制保育によって同じ保育士が食事、授乳の介助をしたり、睡眠、着脱や排せつを一緒に行うことで、愛着関係を築いていきます。一人一人と深く関わり、丁寧に保育を行っていきます。安心できる大人との関係のもとに、楽しみや喜びを共に分かち合うことにより、情緒の安定や自己肯定感の育ちにつながっていきます。

・例えば、優しく話しかける、気持ちを受け止める、気持ちを言葉にして代弁するなどの関わりを通して、いつも同じ大人がいるという安心感を得られるようにしていきます。そうすることで自分の思いを表現できるようになり、遊びや動きが広がることにつながります。

・上記の内容で保育を行い、保育士との信頼関係をしっかり育みます。

<2 についての取り組み>

・手足の動きが次第に活発になり、ハイハイやつかまり立ちで部屋の中を自由に散策する子ども達。運動機能の発達が著しい時期ですので、座る・這う・立つ・つたい歩きなどの動きが存分にできる環境、空間を整えていきます。とくにハイハイはすべての体作りの基本とされており、全身のバランスを保ったり、転んでも怪我をしにくい体を作ったりすることにつながっていきます。そのための経験を積めるよう、腹ばいやハイハイを促す遊びや運動を積極的に取り入れていきます。また、握る・掴む・つまむなど手指の運動を促す玩具や遊びも取り入れています。子どもの育ちや興味のある物によって玩具を用意し、発達にあった遊びが出来るように準備していきます。

・園生活では保育室の他に2階フリースペース、テラスや園庭でも遊び、散歩にも出かけます。外気浴の心地よさを味わったり、保育士と手を繋いで歩いたり、身の回りの様々な物や自然などに興味を持ち、見たり触れたりすることで、子ども達の五感を刺激し興味を広げていきます。

<子どもの自主性を引き出す保育>

・落ち着く雰囲気の中で、子どもが自由に動き回り、自分で触ってみたい、遊んでみたいと思えるような環境を整えていきます。遊びの面では、いつでも好きな玩具を選んで取れるよう手の届くところに置いたり、子どもの発達や動きに応じた遊具を用意したりしていきます。安全に十分配慮しながら子どもの行動を見守り、思いに共感し、満足のいくまで遊びができるようにしていきます。心が満たされることで食事や睡眠などにもゆったりとした気持ちで移行できるようになっていきます。

指示語・命令語・禁止語・否定語の言葉を使わず、子どもがすることに「～したかったのね」「～だよね」とその思いを汲み取る言葉を掛けていくことで、子ども自身も“受け入れてもらえた”という安心感を持ち次への意欲につながります。乳児期からの積み重ねを大切にしていきます。

<担当制について>

子ども達がより安心して過ごしたり、より丁寧に食事・授乳・排せつ・着替え・睡眠などの生活リズムを整えたりしていけるよう、特定の保育士との関係のもとに保育を行っていきます。子どもの自主性を引き出す保育につなげていくためにも担当制を設け、一対一での関わりを大切にしていきます。普通食になり、子ども達のリズムが整い、関心が広がってくると、他の保育士との関わりも持てるようになっていきます。

<お願い>

- ・すべての持ち物に分かりやすく記名をしてください。登園時に履いてくるオムツにも必ず記名をお願いいたします。
- ・登園、降園時に iPad の操作をお願いいたします。
- ・連絡帳の入力は iPad の登園のボタンを押す前に入力して下さい。登園ボタンを押した後は入力できなくなります。
- ・汚れ物入の持ち帰り、ロッカー内にある洋服の補充確認をお願いします。

<保護者の皆さまへ>

保育園が子ども達にとって安心できる場となるよう、ご家庭での様子を伺いながら一緒に手を取り合い、お子さまの成長を支えていきたいと考えています。ご心配なこと、ご質問等ありましたらいつでもお気軽にお声掛けください。